

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示
がしてあります。

バラ (バラ科)

5月9日から24日までローズフェスティバルを開催しています。フェスティバル以降もバラ園をお楽しみいただけます。バラ園では700品種のバラを植栽しており、広島にちなんだバラや、今日では見る機会が少なくなった初期のモダンローズなど、珍しいバラを見ることができます。美しい花や香りをお楽しみください。

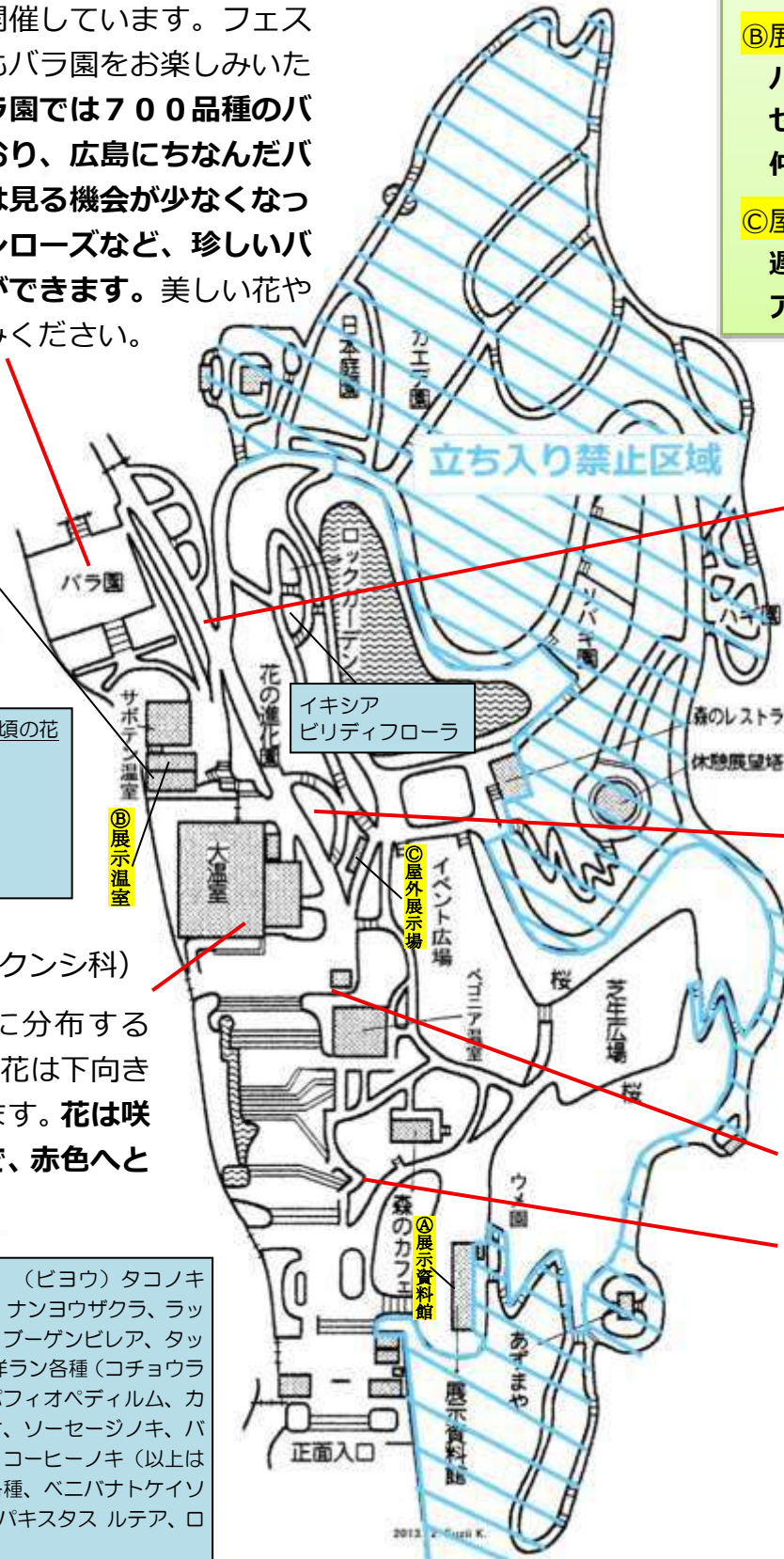
デンドロビウム
フィンブリアツム

★花の進化園で見頃の花
ハナビシソウ
ルピナス
ジギタリス
シャクヤク
アグロステンマ

シクンシ (シクンシ科)

熱帯アジアに分布するつる性の低木。花は下向きに垂れて咲きます。花は咲き始めが白色で、赤色へと変化します。

★大温室で見頃の花 (ビヨウ) タコノキ (実)、アンズリウム、ナンヨウザクラ、ラッセリア、モンパノキ、ブーゲンビリア、タツカシャントリエリ、洋ラン各種(コチョウラン、シンビジウム、パフィオペディルム、カトレヤなど)、[カカオ、ソーセージノキ、バナナ各種、パパイヤ、コーヒーノキ(以上は実)]、ツンベルギア各種、ベニバナトケイソウ、メディナラ各種、パキスタスルテア、ロテカミリコイデス



展示会のご案内

- ① 展示資料館 (5/16~6/3)
趣味のボタニカルアート展
- ② 展示温室
ハーブ展 (5/16~5/24)
セントポーリアとイワタバコの仲間展 (5/27~6/7)
- ③ 屋外展示場
遅咲きクレマチス展 (5/20~5/24)
アジサイ展 (5/30~6/28)

ベニバナ (キク科)

アザミに似た頭花を付けます。花弁の色は、咲き始めが黄色く、次第に赤く変化します。

花を発酵・乾燥させたものが、紅色の染料や着色料として用いられます。

カルミア (ツツジ科)

北米産の常緑低木。淡紅色の花が咲き、別名はハナガサシャクナゲ。金平糖のようなユニークな形のつぼみも見どころです。

サツキ (ツツジ科)

ヒラドツツジに遅れて、5月から6月にかけて開花します。ヒラドツツジと同様に刈り込みに強いので生垣に用いられます。

盆栽展示場で展示している大型サツキ盆栽は、樹齢450年を超える日本最大級のサツキ盆栽です。